

エコボックスRE工法〈エコボックス逆台形式直積み擁壁〉

エコボックスRE工法とは…

岩盤等の強固な支持地盤において、下段ブロックよりも控えの大きなブロックを上段に使用して擁壁前面を垂直に積み上げる、道路拡幅に適した擁壁の構築方法です。

●特長

1. 経済性

下段には小型サイズのエコボックスを使用し、上段に行くほど大型サイズを積み上げるため、底版幅が小さくなり地山の掘削が最小となります。よって、地山を大きくカットして擁壁を構築してから再度埋め戻しをするといった作業がほとんどなくなり、大変経済的です。

現地発生土を擁壁内に充填するため、土砂の搬入、搬出が最小限となります。

2. 安全性

地山の掘削が最小となるため地山をかき乱すことがなく、カット法面下での危険作業が大幅に減少します。「道路土工指針」及び「国土交通省制定土木構造物標準設計」に準拠した設計計算となっており、安心してご使用いただけます。

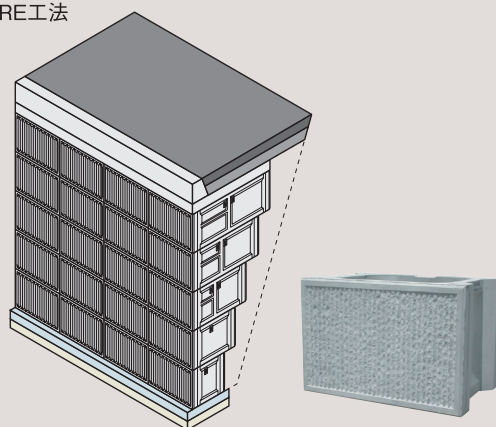
3. 施工性

地山の掘削が最小となるため、地山のカットが最小限ですみ、大幅な工期短縮が図れます。またプレキャスト製品を積んでいく簡単な作業のため、熟練工が必要なく、1日50 m²以上の早い施工が可能となりました。



▲熊本市西区

RE工法



標準断面図

